7.生産・出荷・在庫 生産は、このところ横ばいとなっている。

(前年度比、前年同期(月)比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期(月)比、%)

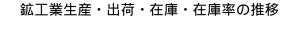
	[2010年] 2010年度	[2011年] 2011年度	2011年 10 - 12月	2012年 1 - 3月	4 - 6月	2012年 4月	5月	6月	(予》
鉱工業生産	[16.4]	[2.3]	(0.4)	(1.3)	(2.0)	(0.2)	(3.4)	(0.4)	(7月 (8月
	9.3	1.0	1.6	4.8	5.3	12.9	6.0	1.5	
鉱工業出荷	[16.7]	[3.5]	(0.3)	(0.8)	(0.2)	(0.6)	(1.3)	(0.9)	
<u>如</u> 工未山門	9.4	2.0	2.2	4.1	8.0	16.0	11.7	1.1	
鉱工業在庫	[3.8]	[3.8]	(1.4)	(5.9)	(0.0)	(2.0)	(0.7)	(1.2)	
	3.9	9.6	3.8	9.6	6.3	10.8	4.7	6.3	
生産者製品在庫率指数	[108.0]	[112.7]							1
(2005年=100)	108.8	115.3	112.7	115.3	123.6	123.2	118.6	123.6	
製造工業稼働率指数	[88.9]	[85.4]							1
(2005年=100)	88.0	87.4	89.3	92.1	89.8	91.8	89.8	87.7	
第3次産業	[1.3]	[0.1]	(0.5)	(0.0)	p (0.0)	(0.2)	p (0.9)	P (0.1)	
活動指数	1.1	0.7	0.6	2.4	P 2.2	2.6	P 3.2	Р 0.8	

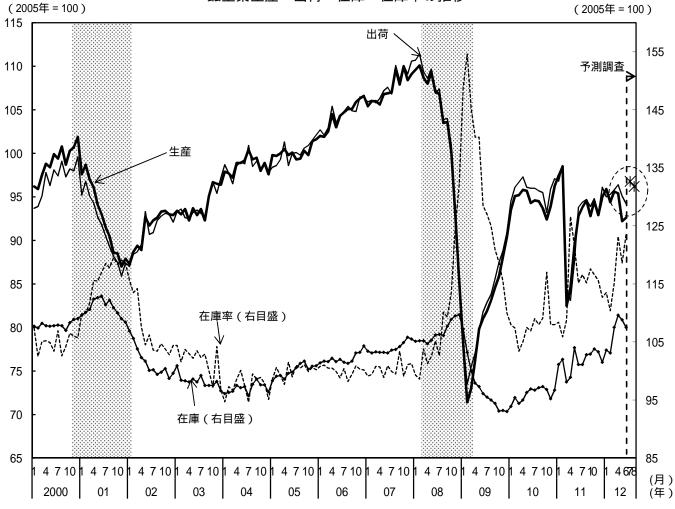
(備考) 1.鉱工業在庫の暦年は年末値、年度は年度末値、四半期は期末値。Pは速報値。

- 2. 生産者製品在庫率の暦年、年度、四半期は期末値(季節調整値)。
- 3.製造工業稼働率の暦年、年度は平均値(原数値)、四半期は平均値(季節調整値)。

(予測調査)

(7月 +4.5) (8月 0.6)





(備考)1.経済産業省「鉱工業指数」により作成。

2.季節調整済指数(2005年=100)。シャドー部は景気後退期を表す。

業種別の動向

	5月	6月		
	・食料品・たばこ工 業	・化学工業		
生産が <u>増加</u> した 主な業種 (寄与度順)	・繊維工業	・電子部品・デバイ ス工業		
(可可及限)	・石油・石炭製品工 業	・一般機械工業		
	・輸送機械工業	・輸送機械工業		
生産が <u>減少</u> した 主な業種 (寄与度順)	・化学工業	・電気機械工業		
	・一般機械工業	・鉄鋼業		



